

かがやけ

佐世保市立猪調小学校

文責 校長 鶴田 和久

猪小キッズ乱舞龍隊 見参！

10月20日、YOSAKOI当日。

この日に向けて、3年生から6年生まで児童は、昼休みや放課後の時間も使って練習に励んできました。緊張しすぎていないかが心配でしたが、笑顔も見られ、大丈夫そうです。

午前、8時50分。名切お祭り広場において、ジュニアステージが開幕しました。

猪調小学校の出番は、9チーム中、6番目。

進行のアナウンスが、出番を告げます。

いよいよ本番です。

曲がかかり、あおりのことばが流れてきます。

「猪小キッズ乱舞龍隊。見参！」

きれいのいい動き。

力強いかけ声。

そして、輝くような笑顔。

晴れ渡る空の下、見事に踊りきりました。

よいできでした。

9組の演目が全て終わり、全てのチームがステージへ上がり、総踊りが行われました。どのチームも、この時ばかりは勝敗を忘れ、踊っていたように思えました。とても楽しそうに。

そして、表彰です。

残念ながら、優勝はできませんでした。

「もりもり元気賞」。これが、猪小キッズ乱舞龍隊に贈られた賞でした。

悔しそうな様子が見て取れました。一所懸命に練習をしてきたからこそその悔しさです。

勝負は、時の運。私自身、決して優勝したチームに引けをとったとは思いません。残念ながら、仕方ありません。きっとこの先に生きるよい経験となったと思います。

繰り返しになりますが、よいできでした。子どもたちは、よくがんばりました。

ジュニアステージの後、移動をしながら、各ポイントで踊りの披露を行いました。

アルカス広場から始まり、島瀬公園、4ヵ町アーケード、させぼ5番街、佐世保駅前広場という5ヵ所で踊りました。最後は、午後4時近かったのではないのでしょうか。徒歩での移動ということもあり、疲れて当然だったと思いますが、最後まで、笑顔で踊りきりました。途中、出会う方々への「こんにちは。」「お疲れ様です。」という元気なあいさつも最後まで忘れることはありませんでした。そのような中、道ゆく方から、子どもたちの姿を見て、

「とってもいい学校ですね。」

とお褒めの声をかけていただいたこともありました。とても誇らしい気持ちになりました。

最後は、午後4時半からの4ヵ町アーケードでの総踊りに参加をしました。成人の他団体の方々と踊りを通じた交流も経験でき、「あおり」や「旗振り」で踊ることができなかった児童もそこでは、一緒になって踊ることができました。どの子もいい表情でした。

子どもたちは、本当によくがんばりました。そして、よい経験ができたと思います。

最後になりましたが、練習期間を含め、当日も移動中の見守り、弁当や捕食のお世話。荷物の運搬。そして中には、本来であれば、自分の子どもの活躍する姿を応援したいはずであるのに、それをおいて、参加団体に割り当てられた大会スタッフとしての役割に従事していただいた方も。全ての保護者の皆様に感謝をいたします。

ありがとうございました。



きめ細かな指導～少人数指導体制

「少人数指導」ということばがあります。
これは、

各学校において、少人数指導を積極的に展開することにより、児童の教科等における基礎学力の向上を図るとともに、教科、学年の特性などに応じたきめ細かな指導を行い、心身ともに健やかな児童の育成を目指す。

ために行われる指導体制のことを指しています。
この指導体制には、大きく次の2つの形態があります。

(1) 少人数授業

1つの学級を複数のグループに分けて、それぞれのグループで授業を行う形態のことをいいます。そのグループの分け方によって、等質指導、習熟度別指導、コース別指導といった種類があります。

- ① 等質指導 ... その学習内容が苦手であったり、得意であったりする児童をほぼ均等に分かれるようにグループを組む指導形態をいいます。
- ② 習熟度別指導 ... 児童の理解や習熟の程度を把握し、難易度の異なる幾つかのグループを編成して学習を行う指導形態をいいます。
- ③ コース別指導 ... 児童の興味・関心に応じた学習課題を幾つか設定し、課題選択学習など、興味・関心別の学習を行う指導形態をいいます。

(2) チームティーチング（以下、T Tと表記します。）

複数の教員でチームを組み、1つの学級を指導する形態のことをいいます。中心となる教員が授業を進め、他の教員は、つまづいている児童への支援を行います。

今年度、猪調小学校には、このきめ細かな指導体制の実現のため、少人数指導担当として、河原先生にきていただいています。前期の間は、主にT Tとして、学級担任と一緒に指導する体制をとっていました。学級担任と一緒に指導に当たることにより、ことばだけではない、実際の児童の姿として、学習におけるつまづきの傾向や学習に対する構えといった、児童の実態を把握することができました。

後期は、T Tによる指導に加えて、少人数指導も実施していきます。

ただし、全ての教科、単元、学年で行うわけではありません。

教科に関しては、「算数」で行います。

単元に関しては、児童の理解が少人数指導のほうが適していると学級担任と少人数指導担当者で判断した単元について行います。その場合も、単元全てを行うのではなく、例えば、単元の最初の部分はT Tで行い、最後の練習問題を少人数指導で行うといったように、児童の実態に合わせて柔軟に計画・実施していきます。

また、実施学年に関しては、本来であれば、全学年で実施したいところですが、少人数担当者が河原先生1名のみということがあり、1年生と3年生を除いた学年で実施します。

子どもたちから、

「今日の算数の授業は、よく分かった。」

「今日は、算数の時間にいっぱい発表できた。」

このような声が多く聞かれるように、猪調小学校全職員、協力して指導に努めていきますので、ご理解・ご支援、よろしくお願いします。



6年生
「比例」の学習
における
少人数指導
の様子